



原爆ドーム



平和の碑



原爆の子の像

◆日本生協連と広島生協連、長崎生協連が主催する「ピースアクション」が8月4、5日にinヒロshima、8月7、8日にinナガサキがオンラインで開催されました。例年であれば代表をコマしますが、新型コロナウイルス感染拡大の背景から、今年はオンラインでの開催となりました。

◆ピースアクションでは、被爆者の証言や現地の訪問のほか、スマートフォンアプリを活用した企画もあり、検索すると被爆者が被ばくした場所や100名ほどの被爆体験を閲覧できる「ヒロシマ・アーカイブ」、「ナガサキ・アーカイブ」。当時の写真を最新のAI技術でカラー化し現在の広島と当時の広島を比較できる「記録の解凍」が活用されました。こちらはスマートフォン等にダウンロードできます（通信料が発生しますので注意）ので、可能な方はこちらで被爆者の証言などを閲覧してみるのもよいのではないでしょうか？

ピースアクション参加報告
八戸地域 橋本由記さん

**ピースアクション参加報告
ハ戸地域 橋本由記さん**

被爆75年という節目の今年、オ
ンラインで自宅から4日間にわた
り参加しました。

私は何年も前から一度見ただけの写真を知つて、それられないその写真を知つて、した。今回この紙芝居に出会って、そこでモノクロで止まつて、ヨさん親子をより感じることになりました。

ました

原爆の子の像

興味からの参加でしたが、「原爆の子の像」がなぜ、作られたのかを知り、とても胸がいっぱいになりました。「原爆の子の像」は、2歳の時に被爆し、それまで何もなかつたにも関わら

—オンライン碑めぐり
碑めぐりは、現地に行か
とできない事だと思つてい
た。1時間という短い時間
たが、説明を聞きながらだ
つとゆうまで、まるで現地
つて一緒にめぐつて、いるよ
本当に貴重な体験でした。

最後に　今回はオンライン開催だつたこともあり、例年はコープあおもりで数人しか参加できないピースアクションに参加できたことはとても貴重な体験でした。今回初めての参加でしたが、平和とは何か考える良い機会になりました。

ピースアクションに参加して
青森地域 古村砂都子さん

ピースアクションに参加して
青森地域 古村砂都子さん

「家族・交流証言者による講話
三根 礼華さん（被爆三
原心地から1kmの場所で被

この新井俊一郎氏は、被爆体験を語つていただける重要な人物で、この翌日、N H K の番組にもとりあげられていました。

一 8月5日ヒロシマ
「被爆体験伝承講話」
沖吉幸子さん 新井俊一郎氏
の話から

体験した方の話を聞くことは困難になつていいくので、映像で残しておくことが大事で、それをもとに伝えていく事も大切だと感じました。一年に一度でも、平和について考える日は必要だとしみじみ思う。ピースアクションへの参加でした。ピースアクションに参加して今年はコロナウイルス感染症の影響で現地に行かないと見たり聞いたりできることをオンラインで見られましたことはとてもいい経験になりました。

今年はオーラライシで開催
in ヒロシマ・ナガサキ

ピースアクション in ヒロシマ
ナガサキに参加して
青森地域活動担当 沢実子さん

小学6年生の時に突如として白血病となり、8か月の闘病生活の末に亡くなつた佐々木禎子

「体験談・講和」